



全教職員配布

# 全釧路情報

2023, 10月号



## 各市町村教育委員会を訪問してきました。

夏休みに行った各地教委への訪問、懇談についての報告です。第2回は**公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法**、いわゆる「給特法」についてです。

### 第2回 給特法について懇談しました

「定額働かせ放題」の「給特法」については、すべての教育委員会・教育長と、現在4%の教職調整額の割合を変更するだけでは学校現場の状況は変わらないという点でお互いの意見が一致しました。また、現状を変えるには教員を増やすことしかないという点でも共通認識に立つことができました。しかし、国の政策であるために地教委ではどうにもならないという苦しさも感じられました。今後とも、それぞれの立場から訴え続けることを確認しました。

さらに私たち全釧路の主張、**未払いの残業代分で教員を増員してほしい**という以下の資料を示した提案には、具体的な数字で示されると分かりやすい、そういう視点や考えもあるのかという声もありました。

## 資料

#### 【時間外勤務手当の試算】

「給特法」により教員に支給されていない時間外勤務手当を試算すると**約9千億円**。

(2016年度調査による試算)

#### 【残業のない現場に】

公立学校に配置される教職員数は、学校の業務量とは無関係に、各学校の学級数から算出される仕組みになっている。そこで、少人数学級制拡充とともに、乗ずる数を改善して学級担任以外の教員数を増やし、授業担当コマ数を減らす。

⇒ 標準定数＝基礎定数＋加配定数

⇒ 基礎定数は、標準学級数×乗ずる数 によって自動算定される

⇒ 乗ずる数を現行法の 1.25倍化すると、

小学校教員週平均授業20コマ担当(1日平均4コマ程度)

中学校教員週平均授業15コマ担当(1日平均3コマ程度)にすることができる

乗ずる数1.25倍化に必要な教員数と予算額は、教員数12万人、予算**9千8百億円**と試算される。「給特法」により教員に支給されていない残業代を当てれば、残業のない教育現場の実現を目指すことができる。段階的实施は実現可能で効果的な政策。

## 原水爆禁止世界大会への代表派遣に

### ご協力ありがとうございました。

8月7日～9日、長崎市で行われた原水爆禁止世界大会に、釧路代表として参加した釜沼愛子さんから報告とお礼の言葉が届きました。代表派遣に当たっては、急なお願いにも関わらず多くの方々のご支援をいただき、全釧路教職員組合としても心から感謝申し上げます。

私たちはこれからも「教え子を再び戦場へ送らない」の決意を胸に、平和な日本と、そこで幸せに生きる子ども達を守り育てていきます。そして、ともに歩んでいく仲間が増えることを心から願っています。みなさん、組合に入って一緒に活動しませんか！待ってます！

### 参加した代表者の報告とお礼です。

この度は原水爆禁止世界大会の参加にあたって、たくさんのお心遣いを頂きありがとうございました。この大会では被爆者の方の経験や海外の方の意見や活動、そして全国各地の高校生の平和活動を聞くことができ、とても貴重な経験になりました。原子爆弾と戦争の恐ろしさを考えさせられ、今後絶対にあってはならないものだ改めて感じました。この活動を伝え、知ってもらうこと、我々高校生が発言し行動することは、今後の日本の平和のためにとっても大切なことです。この大会で学んだことを生かし、日本の平和に貢献していきたいです。改めてありがとうございました。

釧路湖陵高校3年 釜沼 愛子

## 日米共同訓練反対！声を上げ続けましょう!!

9月18日(月・祝)釧路市の栄町公園で日米共同訓練反対道東集会が行われました。全釧路も組織をあげて参加しました。

日米共同訓練は自衛隊と米軍が共同して行う軍事演習です。自衛隊が米軍と一体となって戦争に駆り出される準備と言っても過言ではありません。この日米共同訓練が岸田内閣の軍拡の方針の下、頻度が高まるなど強化されてきています。9月に行われた「オリエントシールド」につづき、10月には「レゾリ्यूードラゴン」、年明けの1月には「ノースウインド」、そして、2月には沖縄に駐留している米海兵隊の移転訓練もおこなれます。少し年配の方は過去に沖縄で女兒が米海兵隊員に暴行を受けた痛ましい事件があったことを記憶されている方もいると思います。

「抑止力のために軍備は必要だ」という意見もありますが、本当はどの国も軍備をなくした方がいいということは誰でもわかっています。実際に東南アジアの諸国は外交努力によってほぼそれを実現しています。日本もそうありたいものです。いや、憲法上はそうでなくてはならない。

戦争の準備をやめて！の声をみなさんと上げ続けていきましょう。



# 釧路合同教育研究集會に集まりましょう!

第56次釧路合同教育研究集會が、11月5日(日)に釧路生涯学習センターまなぼつとにて行われます。釧路管内の保育所、小・中学校、高等学校、大学まで子どもに関わる方々が集まり、それぞれの立場から実践を語り合い、交流し、学び合います。ぜひ、今回の研究集會に参加し、釧路の子どもたちの現状や課題、そして、実践の方向性を確かめ合いませんか。あなたの参加をお待ちしております。

## 【第56次釧路合同教育研究集會の概要】

1. 期 日 11月5日(日)
2. 場 所 釧路市生涯学習センターまなぼつと幣舞
3. 大会テーマ  
「子どもたちに生きる勇気と希望を」  
(サブテーマは、検討中)
4. 日 程  
9:15～ 9:30 受付  
9:30～ 9:45 開会集會  
9:45～11:45 教育講演会  
LGBTQ(トランスジェンダー)当事者の方に  
思いを語っていただきます  
11:45～12:45 昼食・休憩  
12:45～14:45 テーマ討論「地域の中で子どもの未来を考える  
～私たちがめざす学びとは」  
14:45～14:55 閉会集會



## ぷち実践講座 その6

授業中の子ども達の様子を把握するのは大切なこと。今回はそのためのプチテクニックです。

### Z

通常学級の一斉指導の中で、教師の視線が流れていて、子どもたちの様子を把握していない時があります。そうならないために、こんな方法はどうでしょう。

後ろの席を横に、次に全体を斜めに見て、前の列をまた横に見ます。また、斜めに見て行って後ろの席を横に見ます。このZの視線を繰り返します。

これで、あなたは学級の子全体の様子を把握することができますぜつと(Z)!!

※学級が少人数であれば、こんな技もいらないのですけどね…。

## 今後の日程

- 10月 7日(土) 釧路連定期大会 星が浦教育会館 13:00～
- 18日(水) 市教研 鳥取西中学校 14:00～
- 19日(木) 全釧路執行委員会
- 21日(土) 全教第68回中央委員会 東京 ～22日(日)
- 26日(木) 釧路市教育要求交渉 14:30～  
教育長懇談 16:30～  
村山裁判支援集會 18:00～ コーチンフォー文化ホール

## 10月中旬から11月中旬にかけて、日米共同訓練「レゾリュートドラゴン」同監視行動

- 11月 3日(祝) 全道合研
- 5日(日) 釧路合研
- 7日(火) 市教研



## 編集後記

学芸会シーズン真っ盛りです。すでに終わったところもあるかも知れませんが、学校行事はいろいろありますが、学芸会など、その完成度もさることながら、本当は取り組みの過程の方がうんと大切なのではないかと思っています。極端な話、行事はその取り組みの過程の意識づけのための一手段と言ってもいいかもしれません。(もちろん、私見ですし、『極端な話』です。)最も大切なことは、その取り組みを通して子ども達が何を学び、何を身に着けるのかということ。それは、真剣に取り組むからこそ効果も上がるものだと思います。行事だけでなく、部活なんかも本当はそうあるべきなのではないでしょうか。そこを履き違え、結果至上主義に陥ると、いろいろ良くないことが起こりそうです。一生懸命取り組んだ結果が失敗に終わっても、過程を大切にしたら取り組みならきつと子ども達に大きな財産が残ると思っています。(古)

発行 全釧路教職員組合 代表 委員長 山口幸紀

住所 釧路市星が浦3-5-40 星が浦教育会館内  
Tel 0154-51-0476 fax 0154-51-1667  
E-mail zenkushiro@gmail.com